

タクシデルミア ある剥製師の遺言

2008(平成20)年3月12日鑑賞<GAGA 試写室>

★★★



監督・脚本＝パールフィ・ジョルジ／脚本＝ルトカイ・ジョーフィア／原作＝パルティ・ナジ・ラヨシュ『A fagyott kutya lába (凍った犬の足)』(第1話)、『A hullamzó Balaton (波打つバラトン湖)』(第2話)／出演＝ツェネ・チャバ／トローチャーニ・ゲルゲイ／マルク・ビシュショフ／コッパーニ・ゾルターン／シュタンツェル・アデーレ／ヘゲドウシユ・デー・ゲーザ (エスパース・サロウ配給／2006年ハンガリー、オーストリア、フランス合作映画／91分)

第2章

面白くて勉強になる

……何よりもまず、天才続出の国ハンガリーにおける、映画の鬼才パールフィ・ジョルジ監督に注目！ 3部構成のこの映画に登場する、祖父、父、息子はケツタイな奴ばかり！ 勃起した男性器などのリアルな描写や動物の内蔵取り出しなどの生々しいシーンの連続に、目がテンになること必至。好き嫌いがハッキリと分かれるが、さてあなたの評価は……？

ハンガリーの鬼才、パールフィ・ジョルジ監督に注目！

私は全然知らなかったが、28歳の時の長編デビュー作『ハックル』(02年)が多くの賞を受賞して世界的な成功を収めた、ハンガリーの鬼才パールフィ・ジョルジ監督の最新作がこれ。ちなみに原題は『TAXIDERMIA』(剥製術)だから、邦題もほぼ同じ。そのテーマは、「人間の欲望」と「命の極限」を描くことにより「人間とは何か？」をあぶり出す、びっくり仰天の映画らしい。パールフィ・ジョルジの人生の伴侶であるルトカイ・ジョーフィアが書いた脚本は、サンダンス映画祭でサンダンス・NHK賞を受賞したものの、その「規格外」の内容により、NHKが日本でのTV放送権を手放し、出資を見送る異例の事態を生んだとのこと。

勃起した男性器などのリアルな描写や動物の内蔵取り出しなどの生々しいシーンにはビックリだが、他方で『マッチ売りの少女』の絵本から現実のシーンが登場するというファンタスティックなシーンも。R指定は不可避だが、さて日本での反響は……？

3部構成の第1話は？

この映画は3部構成で、第1話の主人公から生まれた子が第2話の、そのまた子供が第3話の主人公となっているが、そこには不倫の子も……？

まずあなたは第1話で度肝を抜かれ、かつ苦笑してしまうはず。第1話の主人公は、ブタのように太った妻と美しい2人の娘と共に暮らす中尉の当番兵の祖父モロジゴバーニ・ヴェンデル（ツェネ・チャバ）。彼は中尉からとことんいじめられる役で登場する。冒頭の彼がロウソクとたわむれる（？）シーンの異様さは……？ 娘たちの入浴シーンや雪合戦の姿をのぞき見しながら、彼がとる性的欲望処理の異様さは……？ そして、ヴェンデルの部屋を訪れてきた、ブタのような中尉の妻とのめくるめく（？）性行為は、夢まぼろしそれとも現実……？

あまり観たくもないシーンが次々と登場するが、そんな衝撃的シーンの連続にとにかく頭がクラクラ……？

3部構成の第2話は？

「飽食の国日本」のバカバカしさを代表するものが大食い競争だと思っていたら、あの音楽家フランツ・リストを生み、あの立方体パズルのルービックキューブを考案した建築学者エルノー・ルービックを生んだ理知的な国ハンガリーにも、大食い競争



© 2006, Eurofilm Studio/ Amour Fou Filmproduktion/ Memento Films/ La Cinefacture
『タクシデルミア ある剥製師の遺言』DVD 2008年秋、CCRE 株式会社より発売予定



© 2006, Eurofilm Studio/ Amour Fou Filmproduktion/ Memento Films/ La Cinéfacture

があったからビックリ！ その選手は、素人に毛の生えたような日本人とは異なり、重量挙げ選手のようないかにも大食いのプロばかり。

第2話にはそんな主人公バルトニ・カールマン（トローチャーニ・ゲルゲイ）が登場するが、それは彼が、あのガリガリだった祖父ヴェンデルとあのブタのような中尉の妻との一夜限りの不倫の結果生まれた息子だから……？

第1話でも思わず目をそむけたいようなシーンが続出だったが、第2話でも第2ラウンドの勝負にのぞむためアホほど食べたスープを選手たちが吐き出しているシーンに、私は思わず目を覆い隠すことに……。

3部構成の第3話は？

大食い競争選手のカールマンが結婚したのは、同じく大食い競争の女性チャンピオンのアッツェール・ギゼラ（シュタンツェル・アデール）。すると、常識的には父母と同じような体型の息子が生まれるのかなと思うが、実際はそうではなく、第3話の主人公となる剥製師のバルトニ・ラヨシュ（マルク・ビシュシヨフ）は、体型的にはまとも。第1話と第2話はパルティ・ナジ・ラヨシュの原作を基にしたものだが、第3話はパルフィ・ジョルジ監督とロットカイ・ジョーフィアがオリジナルで作り出したものらしい。第3話でみる主人公ラヨシュの性格もかなり異様だから、その異様ぶりは映画の中でタップリと……。

2008(平成20)年3月13日記